

かみす

Pick up

▶かみす防災アリーナ開館記念
イベント参加者募集とチケット販売

AR 広報かみすが
動き出す



[COCOAR2]

アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は30ページ

特集

まちの魅力再発見

児童館

親子が笑顔になる
“居場所”

陽の光がさんさんと降り注ぐ、女性・子どもセンターのプレイルーム。子どもたちが元気いっぱいに遊んでいました。来館中の保護者は「初めて来たときは、親子ともに緊張したけれど、職員の皆さんが温かく迎えてくれました」と笑顔で話しました。親子を笑顔にする児童館の魅力を紹介します。

児童館

親子が笑顔になる
“居場所”

「児童館なしでの子育ては考えられません」という声があがるほど、たくさんの方の保護者から頼りにされている児童館。市内には7つあり、その数は県内2位を誇ります。この恵まれた環境をフル活用している人がいる一方で、まだ一度も利用したことのない人も。そこで今回は児童館をご紹介します。



児童館は家族の「居場所」

児童館とは、どのような施設なのでしょう。まず、その目的や特徴を平泉児童センターの垣内よし枝館長に聞きました。



垣内館長

「実は対象年齢が幅広く、0歳から18歳まで自由に利用できます。未就学児は、保護者の付き添いが必要です。朝9時から夕方5時半まで、年末年始を除き土日祝日も毎日開館。安全にのびのびと遊べる場所を提供しつつ、特に育児中のママが横のつながりを持てるよう配慮しています。最近パパの来館も増えていきますね。児童館は家族みんなの「居場所」です」

児童館が必要とされる背景には、現代の子育てが孤立しやすい状況にあることが挙げられます。とくに神戸市は転入者が多く、利用者からは「転勤族のママたちには助けが必要です。私も引越して来てすぐに子どもが生まれ、誰も話し相手がいなくて……。児童館があって本当に救

われました」という切実な声が聞かれました。もちろん、地元出身でも育児の悩みは共通であり、核家族や共働きのため手助けを必要としているお母さん、お父さんは大勢います。そういうお母さん、お父さんのた

めに、児童館では子育て相談や情報交換ができる体制を整えています。専任の子育てコンシェルジュが巡回し、必要に応じて市の制度や関係機関を紹介するなど、一人で問題を抱え込まないようにするの



ゆったりとした室内で思い思いに過ごせる

午前中は、乳幼児を連れのお母さんが中心。興味の向くまま遊んだり、お母さん同士でおしゃべりを楽しんだり、過ごし方は人それぞれ。手遊びや紙芝居、身長・体重の測定、育児相談など多彩な内容の「子育て広

場」が開かれており、自由に参加することができ。午後3時を過ぎると小学生が続々と集まり、元気に遊ぶ姿が見られます。ときおり中学生や高校生もスポーツを目的に訪れるとのこと。バスケット、サッカー、卓球、バドミントン、トランポリン、鉄棒

など、児童館によってさまざまな設備が整っており、平泉児童センターには立派な体育館があります。夏休み中は、お弁当を持って丸一日過ごす小学生がたくさんいます。

先に夏休みの宿題を済ませる子もいれば、遊びを優先する子もいますが、本人の自主性にまかせて見守ります。共働き家庭が多い今、子どもの安全な居場所はますます重要となります。

多彩なイベントやクラブ活動

ほぼ毎日、英語、クッキング、親子ヨガ、工作など、多彩なイベントやクラブ活動が行われているのが大きな魅力。年に数回は、「こどもまつり」など数百人もの来場者でにぎわう大きな催しもあります。イベントの多くは自由参加で、クラブ活動は事前登録が必要です。どの児童館でいつ、何時から、どういうイベントやクラブがあるか、アプリなどで情報を収集し、自宅から離れた児童館へ足をのびず親子も珍しくありません。訪問した日に行われていたイベントを紹介してみよう。

去年建て替え

たばかりの大野原児童館では、ボルダリング壁を設置。「ボルダリングの日」は人気で、幼児



体を動かして遊べるスペースもある



ボルダリングの日(大野原児童館)



パステルアート(軽野児童館)



ひなまつりフォトスタジオ(若松児童館)



輪ゴムdeプレス!(波崎西児童館)



ねんねアート(うずも児童館)

から小学校低学年の子どもたちがす
いすいと壁をよじ登っていきます。
ゴール地点まで行くと、列の最後に
並んで順番待ち。きちんとルールを
守って遊んでいる姿が印象的でした。
若松児童館の「ひなまつりフォ
トスタジオ」は、手作りのひな壇
に座って、お雛様気分で記念撮影。
撮った写真をひなまつりの日に家で
飾れるよう、2月末に開催しました。
他にも、庭の畑を食育に利用してい
るのが特徴です。サツマイモやカボ
チャを育て、収穫し、料理する、そ
のすべての過程が楽しいイベントに
なるそうです。

うずも児童館は、「ねんねアー
ト」が大好評。これは、赤ちゃんを
主役として絵本の一ページのよう
に可愛く撮るもので、インスタグラム
に写真をアップするのがブームに
なっています。「桃の節句」の撮影
をしていたお母さんは、ねんねアー
トの常連さん。これまでに、誕生日、
ハロウィン、節分などを撮影。この
日はママ友を誘って来ていました。

波崎西児童館では、「輪ゴムdeプ
レス」を開催。子どもたちは、カラ
フルな輪ゴムを夢中で編み込み、自
分だけのプレスレットを作りました。

ママ・パパに聞きました

児童館を利用していかがですか？

今日初めて児童館に来ましたが、職員
さんに元気に声をかけてもらって、歓迎
されている感じがしてうれしかったです
ね。また来ようと思います

山本恭平さん



黒田琴奈さん

最初に来たときは緊張しましたが、子ども同士が遊び始
めると自然にママ同士も交流できて、すぐに馴染むことが
できました。家にいると家事を優先しがちですが、児童
館にいる間は子どもとしっかり向き合うことができます。



引っ越してきて知り合いがいまいませんでした
が、児童館で親子揃って友達ができま
した。職員の皆さんも、すぐに名前を覚
えて遊んでくれます

松田弥生さん





親と子どもが笑顔になれる居場所



楽しい催しだけでなく、利用者の安全・安心を守るため定期的に避難訓練を実施。火災、地震、津波、風水害、不審者などさまざまな想定で訓練を行い、小さいうちから防災・防犯意識を身につけます。

楽しく、安全・安心に

軽野児童館では、登録制のクラブ活動「軽キッズ教室」で、小学生がパステルアートに熱中していました。全員に同じ型紙が配られますが、配置や配色は自由。多彩な作品が生まれ、子どもたちの発想力に驚かされます。



どの児童館も利用者を温かく迎え入れ、子どもにもお母さんにもこまやかに目配りをしてくれます。「親以外の大人が身近で話を聞いたり遊んだりしてくれるのは、子どもにとって恵まれた環境だと思います。もし家や学校で嫌なことがあっても、公園で一人で泣いたりせず、児童館に来てほしい。ここを第2の家と思ってもらえたら、とてもうれしいですね。赤ちゃんの時から18歳まで、長期間

自由に気軽に来られる場所

訪れた日、女性・子どもセンターでは、消防署の協力を得て火災の避難訓練が行われていました。中庭では、子どもたちが生まれて初めて消防ホースを握って放水訓練。「親子で貴重な経験ができてありがたいですね」と好評でした。

にわたって子どもたちの成長を見守っているのが、児童館職員としてのやりがい。通っていた子どもたちが、やがて親となり、赤ちゃんを抱いて来てくれたりすると、もう職員みんな大喜びです」と話す垣内館長。児童館は、好きな時に来て、好きなように遊んで、好きな時に帰っていい場所。最初の「児童館デビュー」はちょっと緊張するかもしれませんが、訪問して「初めてです」と一声かければ、いねいに案内してもらえますし、みんなの輪に入りやすいよう橋渡しをしてくれます。または、イベントへの参加からスタートするのもおすすめです。7つの児童館それぞれに特徴があるので、お気に入りの館を見つけるのも楽しみの一つ。目的に応じて複数の館を利用している人もたくさんいます。さあ、まずは最寄りの児童館へ遊びに行ってみませんか？



職員の皆さんは子どもたちの成長を見守っている

育児を応援する行政サービスガイド



無料スマホアプリ
子育てタウン

市からの子育て情報がタイムリーに届くスマートフォン用の子育て応援アプリです。児童館のイベント情報も満載です。



こちらから
ダウンロード

※通信料がかかります



Google play

市内7つの児童館



平泉児童センター(平泉)
☎0299-93-8820



大野原児童館(大野原)
☎0299-92-7192



軽野児童館(溝口)
☎0299-97-0360



うずも児童館(奥野谷)
☎0299-96-5069



波崎西児童館(波崎)
☎0479-44-8788



女性・子どもセンター(土合)
☎0479-48-1112



若松児童館(太田)
☎0479-46-1055



詳細は神栖市児童館ホームページをご覧ください